

核兵器のない世界へ

ICNND広島会合
国際市民シンポジウム

～ヒロシマから、
2010年ニューヨークへ～

'09 **10.18** (日) 14:00 ~ 17:00 (開場13:45)

会場 世界平和記念聖堂 広島市中区鞆町4-42

広電「銀山町」「女学院前」電停から徒歩8分 (ウラに地図)

◎ パネルディスカッション

レベッカ・ジョンソン (英アクロニム研究所所長)

ティルマン・ラフ (ICAN代表、ICNND NGOアドバイザー)

田中 熙巳 (日本被団協事務局長)

川崎 哲 (ピースポート共同代表、ICNND NGOアドバイザー)

コーディネーター

森瀧 春子 (核兵器廃絶をめざすヒロシマの会(HANWA)共同代表)

◎ 参加費:1000円 / 学生:800円

(同時通訳付、事前申し込み不要)

「核兵器のない世界」を——。

これまで、被爆者や数多くの市民が行動してきた核兵器廃絶への歩みはいま、歴史的な局面を迎えています。核使用国の「道義的責任」に言及したオバマ米大統領のブラハ演説を筆頭に、「核兵器のない世界」への機運がかつてない高まりをみせています。

世界が核兵器廃絶に歩み出そうとする一方、これに後ろ向きな日本政府の姿勢があらためて浮き彫りになりました。被爆国の「道義的責任」とは何かが問われています。

こうしたなか、10月17日から20日にかけて、「核不拡散・核軍縮に関する国際委員会(ICNND)」の最終会合が広島で開催されます。「核兵器のない世界」への潮流を加速させ、来年5月のNPT(核不拡散条約)再検討会議の成功を導くために、被爆地・ヒロシマから「今こそ行動を！」のメッセージを発信しましょう！

キャンドル
メッセージ

「NUCLEAR FREE NOW！」

'09 **10.17** (土) 17:30 ~ **会場** 原爆ドーム横広場

「核なき世界」へのひとりひとりの想いを込めて、
キャンドルで「NUCLEAR FREE NOW！」
の文字を描きます。
原爆ドーム横広場にお集まりください！

* 広島市主催:市民協力イベントにもご参加を！

17日 15:00~16:30 @旧広島市民球場
核兵器廃絶のための市民集会
折鶴&人文字でアピールしよう【2020 NO NUKES】

主催

ICNND日本NGO連絡会
**ICNND
Japan
NGO
Network**

核不拡散・核軍縮に関する国際委員会(ICNND)

日本NGO・市民連絡会 + 広島実行委員会
(略称: ICNND日本NGO連絡会)

共催

(財) 広島平和文化センター

後援

広島市

【問い合わせ】ICNND 日本NGO 連絡会事務局 〒223-0062 横浜市港北区日吉本町 1-30-27-4 日吉グリーン1F(ピースデポ気付)
電話:045-563-5101 FAX:045-563-9907 メール:office@peacedepot.org 現地連絡先 090-9064-4705 (HANWA 森瀧)

＜カンパのお願い＞

当イベントは、主旨に賛同する NGO・団体、また個人のカンパによって運営されています。
あなたの力をぜひお貸してください。

賛同募金：一口1000円から

◆郵便振替口座：00200-5-108274 加入者名「ICNND日本NGO連絡会」
※他行からのお振込の場合 ゆうちょ銀行 ○二九（ゼロニキュウ）店 当座0108274

シンポジウム パネリスト・プロフィール



レベッカ・ジョンソン (英アクロニム研究所所長)

英国最大の反核NGO、CNDの元副議長。1995年にアクロニム研究所を立ち上げる。『Bulletin of the Atomic Scientists』元副評議委員長。2004年～06年、ハンス・ブリスラによる「大量破壊兵器委員会」のシニアアドバイザー。06年10月～07年10月、核ミサイル「トライデント」更新阻止のための非暴力行動「ファスレーン365」を実施。07年から中堅国家構想(MPI)の専門相談役。アクロニム研究所発行の『Disarmament Diplomacy』編集長。



ティルマン・ラフ (ICAN代表、ICNND NGOアドバイザー)

核戦争防止国際医師会議 (IPPNW) オーストラリア代表。IPPNWの核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN) 代表。戦争防止医療者協会 (MAPW) 副代表。メルボルン大学ニューノッソル世界保健研究所准教授。豪赤十字国際局医療アドバイザー、太平洋諸島諸国における防疫計画に関してユニセフ、WHOのテクニカルアドバイザーを務める。今年4月、豪紙「The Age」に、マルコム・フレイザー元首相らとともに核兵器廃絶を推進する提言を寄稿。



田中 熙巳 (日本被団協事務局長、ICNND日本NGO連絡会共同代表)

1945年8月9日、長崎で被爆。5人の身内の命を一挙に奪われ、伯母を野原で荼毘に付す。1960年～96年、東北大学工学部で研究・教育にあたる。74年から被爆者運動に関わり、2000年から日本被団協事務局長に。1978年の第1回国連軍縮特別総会をはじめ、国内外での被爆の実相証言活動を行う。05年、NPT再検討会議期間中の国連本部での原爆展を主催 (日本被団協)。2010年NPT再検討会議期間中にも開催を予定している。



川崎 哲 (ピースボート共同代表、ICNND NGOアドバイザー)

ピースボート共同代表。「アボリション2000」調整委員。「武力紛争予防のためのグローバル・パートナーシップ (GPPAC)」東北アジア地域事務局コーディネーター。2005年より、外務省・NGO共催の「国連改革に関するパブリックフォーラム」の軍縮分科会を企画・運営。08年、「9条世界会議」日本実行委員会事務局長。著書に『核拡散-軍縮の風は起こせるか』(岩波新書、03年) など。『大量破壊兵器 廃絶のための60の提言』(岩波書店、07年) を共訳。

コーディネーター



森瀧 春子 (核兵器廃絶をめざすヒロシマの会 (HANWA) 共同代表、 ICNND日本NGO連絡会共同代表)

「核兵器廃絶をめざすヒロシマの会」共同代表。「NO DU ヒロシマ・プロジェクト」事務局長。「ウラン兵器禁止を求め国際連合 (ICBUW)」運営委員。長年にわたり、広島発信の核廃絶・平和運動に取り組んでいる。03年、「イラク戦争被害・劣化ウラン弾ヒロシマ調査団」として、バグダッドやバスラなどイラク全土における戦争被害や劣化ウラン弾による放射能汚染を調査。

＜18日シンポジウム会場地図＞



核不拡散・核軍縮に関する国際委員会 (ICNND) とは？

08年、ケビン・ラッド豪首相の提唱を受けて、日豪政府主導で立ち上げられ、ギャレス・エバンス元豪外相、川口順子元外相の両議長を含む15ヶ国15人の国際委員と、27人の諮問委員が任命されています。昨年10月のシドニー、本年2月のワシントンD.C.、6月のモスクワに続いて、10月の広島での会合を経て、2010年1月には、核不拡散条約 (NPT) 再検討会議に向けて、報告書を取りまとめることになっています。

ICNND日本NGO連絡会とは？

ICNND日本NGO連絡会は、国内NGO・個人がネットワークを組み、ICNNDや外務省への働きかけをおこなっています。これまでICNNDに対して2回の公開書簡を出すとともに、川口・エバンス議長との対話、公開セミナーなどをおこなってきました。この2月のICNNDワシントン会合には、幅広い市民の支援を受けながら、被爆者を派遣し、被爆の実相を委員に伝えることもおこなないました。【活動詳細】<http://icnndngo-japan.wordpress.com>